

気候情報

2005年8月の日本の天候

高温（全国）、少雨（西日本）

8月の天気概況

西日本を中心に太平洋高気圧に覆われ、全国的に気温の高い日が多かった。北・東日本日本海側は前線や低気圧の影響で多雨となったが、晴れの日が多かった西日本は少雨となり、四国地方を中心に渇水が続いた。また、北・東日本を中心に太平洋高気圧の縁辺の暖湿流や上空の寒気の影響を受けやすく、大気の状態が不安定となって平年に比べ雷雨となる日が多かった。

上旬には台風第9号がフィリピンの東海上を北西に進んで先島諸島に接近し、26日に台風第11号が三浦半島を通過後、千葉市付近に上陸した。下旬には台風第13号が先島諸島に接近した。

上旬：初め朝鮮半島から東北地方に停滞していた梅雨前線は、太平洋高気圧の強まりに伴って北上し、東北南部、東北北部とも平年より遅く4日頃に梅雨明けした。全国的に太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、暖湿流が流れ込んだり上空に寒気が入った影響により大気の状態が不安定となり、各地で雷雨となる日も多かった。また南西諸島は、中頃に台風第9号が接近し、先島諸島を中心に大荒れの天気となった。旬平均気温は、全国で高かった。旬降水量は、北日本日本海側と南西諸島で多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で平年並のほかは少なかった。旬日照時間は、南西諸島で少なかったほかは平年並だった。

中旬：西日本や北日本日本海側は高気圧に覆われ晴れて暑い日が多かったが、前線や低気圧の影響を受けやすかった東日本や北日本太平洋側では天気のぐずつく時期があった。また、上空の寒気や南海上から暖湿流が流れ込んだ影響で広い範囲で大気の状態が不安定となり、雷雨や大雨となる日も多かった。しかし、四国地方などでは少雨が続き、渇水状況は解消しなかった。南西諸島では、前半は高気圧に覆われ晴れて暑い日が続いたが、後半は天気がぐずつき、気温も平年を下回った。旬平均気温は、南西諸島で平年並だったほかは高かった。旬降水量は、東日本日本海側で多く、北日本太平洋側と西日本太平洋側で少なかったほかは平年並だった。旬日照時間は、北日本太平洋側と東日本で少なかったほかは平年並だった。

下旬：日本海にのびる前線がゆっくりと南下したため曇りや雨の日が多く、大雨となる所もあった。台風第11号は、26日に三浦半島を通過後、千葉市付近に上陸したため、東日本太平洋側では大荒れの天気となった。また、台風第13号は月末に先島諸島に接近し、大荒れの天気となった。しかし、四国地方などでは少雨

が続き、渇水状況は解消しなかった。旬平均気温は、北日本と東日本で平年並だったが、西日本で低く、南西諸島で高かった。旬降水量は、北日本日本海側と東日本太平洋側で多かったほかは平年並だった。旬日照時間は、北日本太平洋側で多く、東日本太平洋側と西日本で少なかったほかは平年並だった。

8月の気候統計

平均気温：月平均気温は全国的に高く、北海道、東北地方北部などで平年を1℃以上上回った。

降水量：月降水量は北日本の日本海側、北陸地方、関東甲信地方などで多く、酒田（山形県）では8月の降水量の最大値を更新した。一方、北海道の太平洋側や西日本などでは少なかった。南西諸島は平年並だが、多いところと少ないところに分かれた。西日本や南西諸島では所々で平年の40%未満となり、名護（沖縄県）では8月の降水量の最小値を更新した。

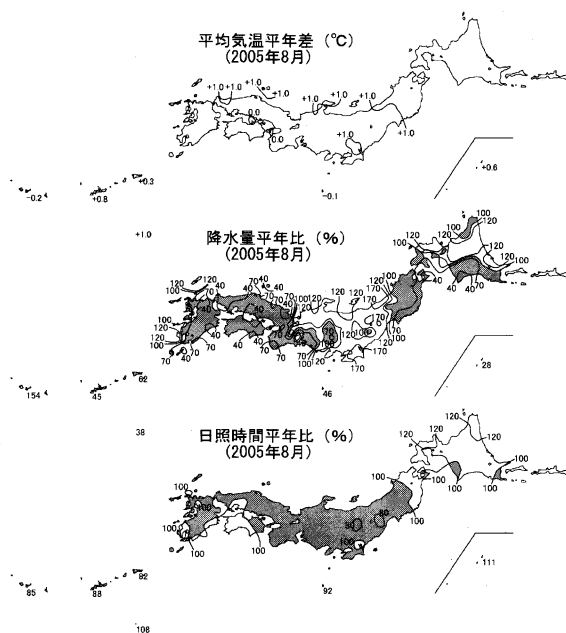
日照時間：月間日照時間は、北海道で多く、中国地方、四国地方や九州地方南部で平年並だったが、そのほかの地方では少なかった。

（気象庁観測部統計室）

8月の記録（1位更新のみ）

- ・月降水量の多い方から(mm)
酒田 395.0
- ・月降水量の少ない方から(mm)
名護 59.5

2005年8月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す